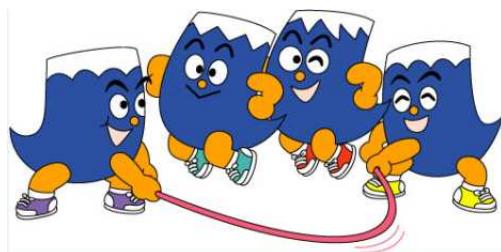


静岡県の地震・津波対策

令和7年度 静岡県庁 仕事スタディツアーリポート

<危機管理部>

みんなで防災！ 未来へつなぐ静岡の力



防災ベテラン家族
「わたひな家」



全壊・全焼建物数 約346, 000棟

負傷者数 約113, 000人

救助が必要になる方 約70, 000人

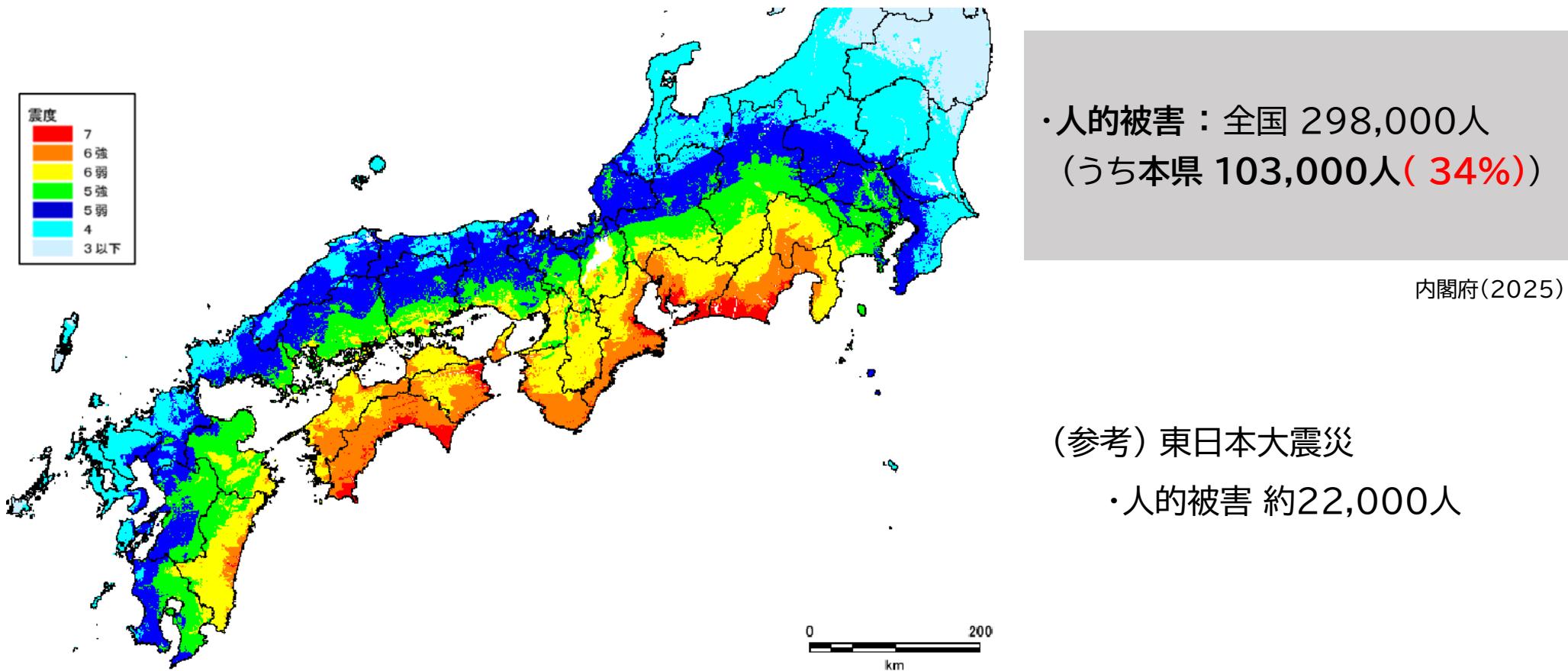
想定される死者数 約103, 000人

南海トラフ巨大地震による静岡県の被害

出典:中央防災会議防災対策実行会議 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ(R7.3)

南海トラフ巨大地震の被害想定について(国の想定)

南海トラフ巨大地震の犠牲者のうち 約 1/3 が本県の犠牲者。



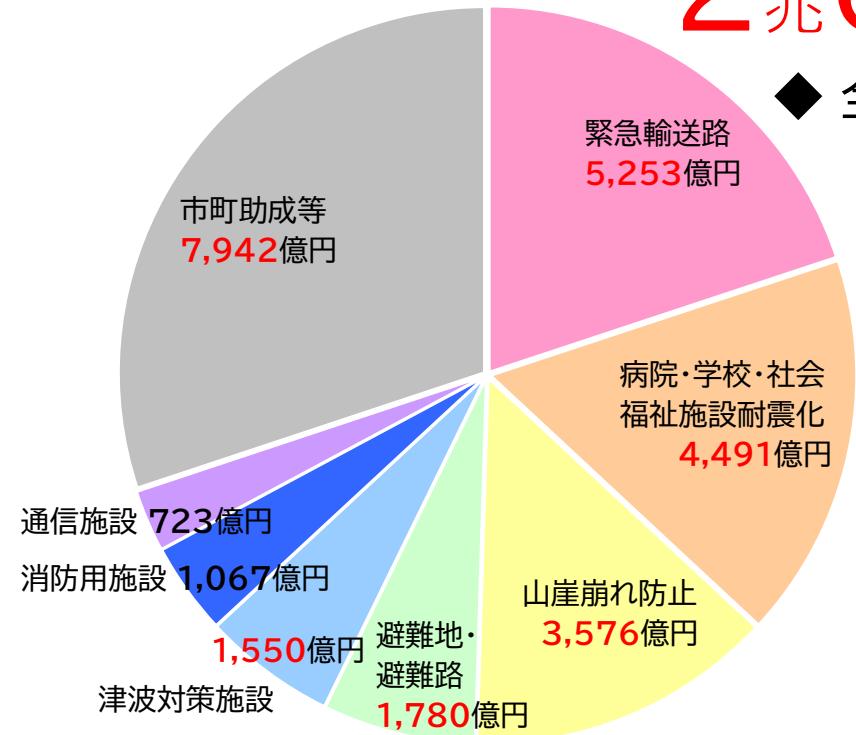
みんなで防災！ 未来へつなぐ静岡の力

静岡県は、1976年8月に発表された東海地震説以降、
ハードとソフトの両面から、様々な地震・津波対策を実施してきました。

◆これまでの実績 昭和54年度～令和5年度

2兆6,382億円

◆ 全国トップレベルの対策



木造住宅耐震
補強工事への助成

累計26,516戸
(全国1位)

2023(令和5)年度末

震災総合訓練への
県民の参加率

10.4%
(全国2位)
(全国平均1.3%)

2021(令和3)年度末

防災拠点となる
公共施設の耐震化率

99.3%
(全国2位)
(全国平均96.2%)

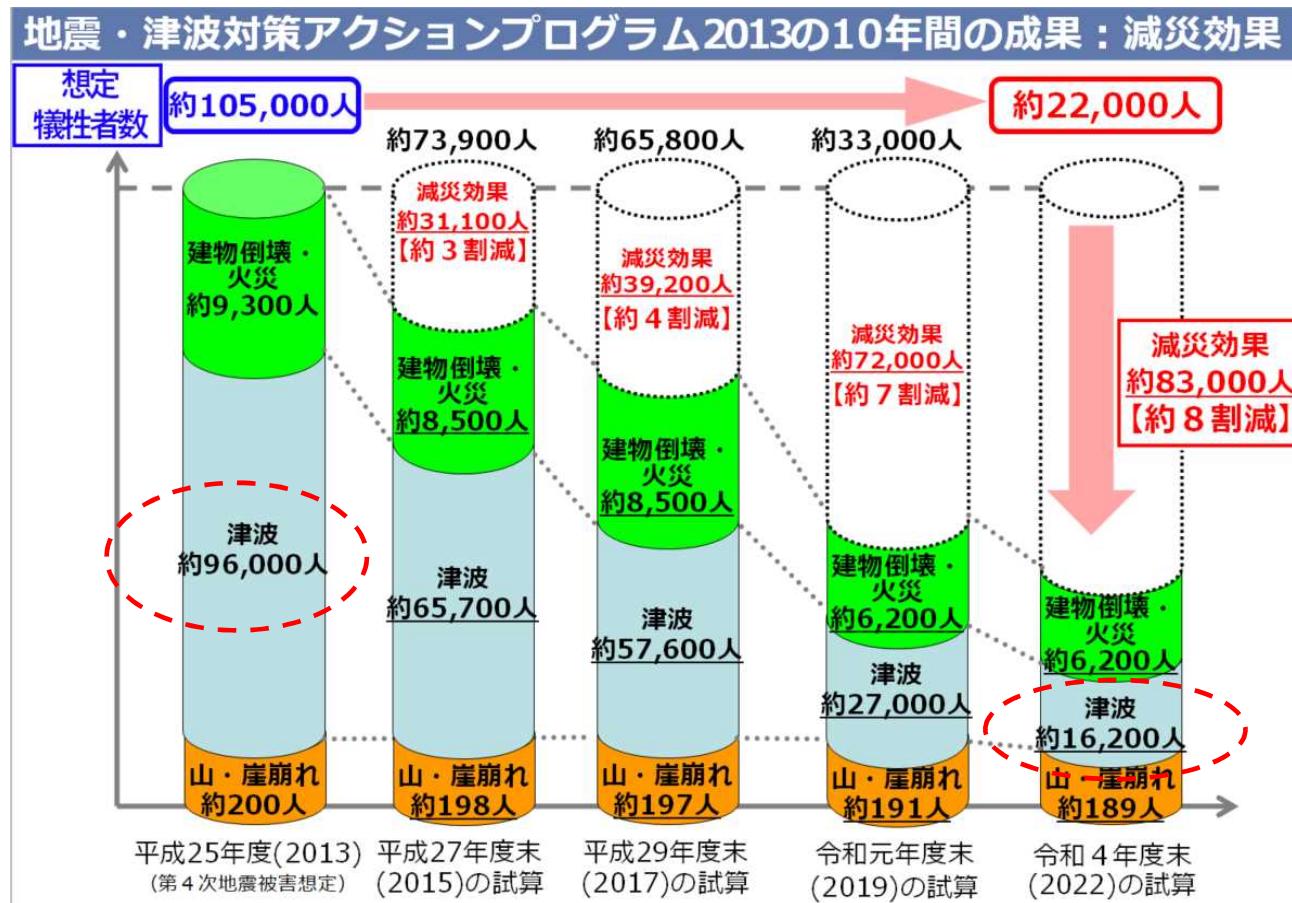
2022(令和4)年度

これまでの地震・津波対策の成果

静岡県第4次地震被害想定(2013年策定)

→ 「地震・津波対策アクションプログラム2013」 目標:想定犠牲者の8割減少

R4年度末時点で達成(瞬間風速)



これからの取り組み(静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023)

令和5度から、新たなアクションプログラムに基づく取り組みを始めています。

計画期間:2023年～2032年(**10年計画**)

151のアクション

基本理念(10年後の目指す姿)

犠牲者の最小化・減災効果の持続化とともに、

被災後も命と健康を守り、健全に生活できる社会を実現

減災目標

令和4年

犠牲者の
8割減少

令和7年度

犠牲者の
9割減少

令和14年度

**9割減少
以上の水準を維持**

被災後の生活の質的向上による健康被害等の最小化

静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023の重点施策

1. 自助

- 早期避難意識の向上と持続
- 家庭内等の飲料水・食料の備蓄の徹底



早期避難意識の向上

2. 共助

- 要配慮者の支援体制の確保
- 自主防災組織の活性化



避難所の環境改善・自主防災組織の活性化

3. 公助

- 避難時・被災後の生活の質の確保
- ハード整備の着実な推進

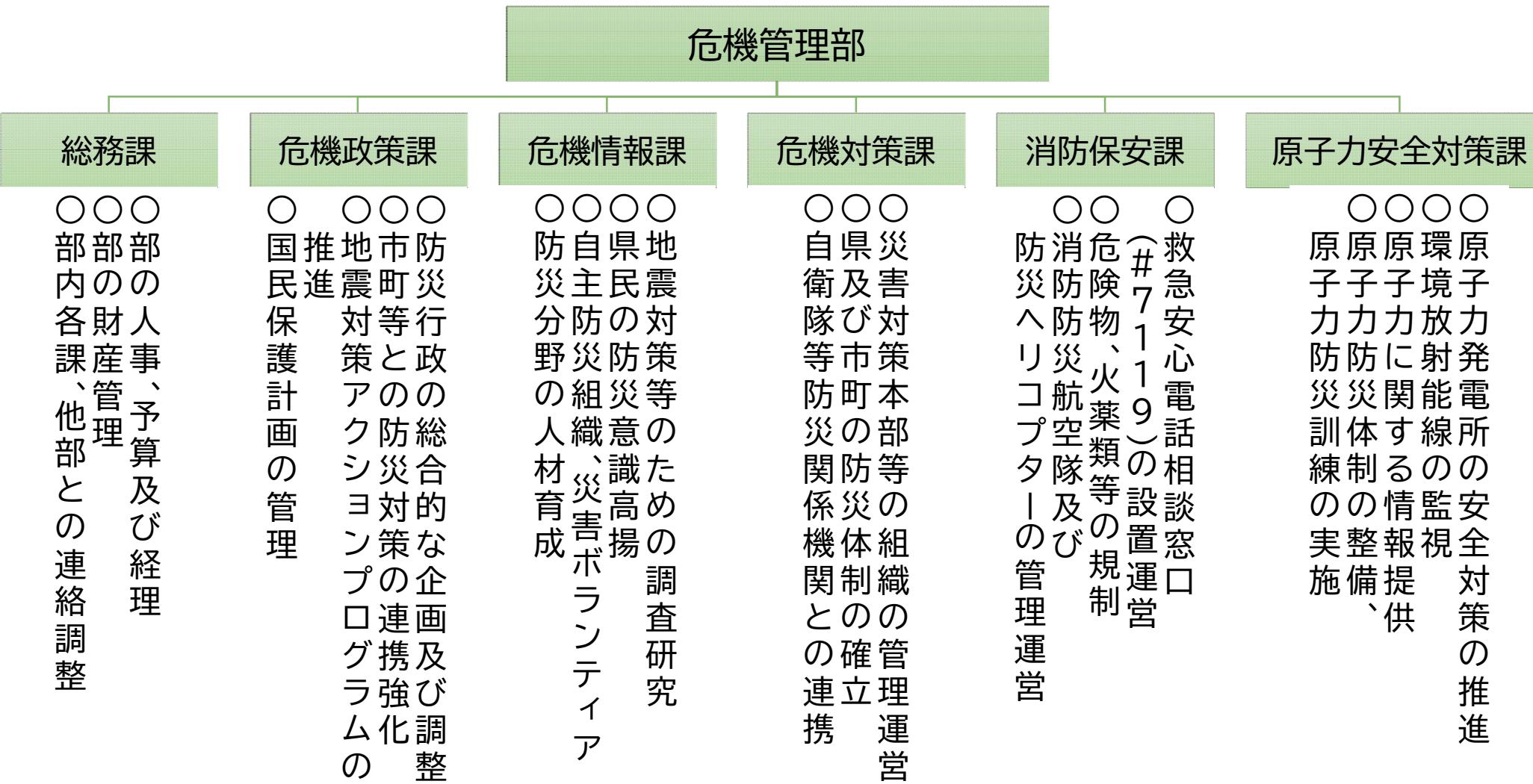


ハード整備の着実な推進(静岡モデル防潮堤)

危機管理部のご紹介

防災対策は県庁全体で取り組む

危機管理部はその総合調整を担う、災害時の”中枢”



ご清聴
ありがとうございました



防災ベテラン家族
「わたひな家」

